

# 目 次

## 2011年度事業関係

### 1. 事業内容報告

- 【1】 地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業 ..... 8
  - 【2】 コーディネート事業・相談活動・  
ボランティア支援・当事者支援活動 ..... 19
  - 【3】 教育・啓発活動 ..... 22
  - 【4】 コミュニティ・メディアにかかる活動 ..... 22
  - 【5】 国際的な草の根の交流を行う事業 ..... 22
  - 【6】 リサイクルバザー事業 ..... 22
2. 組織と運営 ..... 23

2012年度事業計画 ..... 26

2011年度決算および2012年度予算 ..... 31

会 員 関 係 ..... 38

\* 2012年度理事監事名簿

\* 2012年度ボランティアグループ運営委員名簿

\* 会員名簿

寝屋川市民たすけあいの会 会則 ..... 41

## 特定非営利活動法人

寝屋川市民たすけあいの会 定款 ..... 44

寝屋川市民たすけあいの会のあゆみ ..... 55

# 寝屋川市民たすけあいの会

## 2011年度事業内容報告

寝屋川市民たすけあいの会は、1978年5月に設立以来、市民の手により主体的につくられた寝屋川ボランティア・ビューローを拠点として、様々な地域活動を行ってきた。

2011年度に実施した当会の事業活動概況は次のとおりである。

2011年度は、3年前の発足30周年をふまえて、現在のたすけあいの会の組織や事業のさまざまな課題が明らかになり、時代にあわないもの、現状にあわないものを休止したり、形を変えたりといういわゆる組織の再編成のほぼ完成年度であった。会の活動自体を再考し、組織変更と事業活動などの見直しなどを行ってきた。

ボランティア活動およびその推進活動、市民活動的な活動およびその推進活動を時代にあわせて、行っていけるような組織にするために、また一方で、この10年、NPO法人創設から中心的に取り組んできた福祉事業、特に障害者福祉事業をしっかりとしたものにしていける組織、事業形態にしていくことを組織の目標できるように取り組みをはじめている。

### 本年度事業報告の概要

#### 〈全体的概要〉

ここ3年間の組織および活動の見直し期を終え、組織および活動が次のステージに入っていくことになるとして、2011年度の組織全体としては次の4点の計画をたてた。

#### 1. 組織的整備－参加型の組織の再構築－

##### 【目標】

たすけあいの会が追求してきた参加型の柔軟な開かれた組織を再構築することを試みる。

具体的には、

①運営組織の理事会の改革を行う。外部理事、監事システムの採用。

・理事の増員 外部理事・監事システム スタッフが理事会に参加

②開かれた組織にするために、理事会や総会をはじめ、ボランティア、会員、スタッフが組織の運営に対して参画できる仕組みを構築する。

- ・総会は会員さんの意見を吸い上げる仕組み
  - ・ボランティアさんはボランティア G の運営委員会（月例 MT）やボランティアサロンにて。
- ③各事業や活動については、それぞれのセクションやグループ、事業活動で一定のガイドラインを元に、計画、実施、廃止を行える柔軟な組織に。
- 常任委員会の開催。  
福祉事業部 MT の設置開催  
インキュベーション部の取組みを新しい形ではじめようと検討を始めた。

## 2. 「つどえる場づくり」に再挑戦

寝屋川市民たすけあいの会が、おそらく発足当初から抱えてきた課題に、ボランティア・ビューロー（たすけあいホーム）に、どうしたらたくさんの方がつどえるのか、という課題があったように思われる。再度このテーマに取り組みたい。

- ①ボランティアサロンについては、定期的な取組みとして行うことができているが、その他については、なかなか、十分な取組みがない。ただ、インキュベーション部の発信から、交流活動の広がりのきっかけづくりを行った。

## 3. ネットワークの中で

私たちはこれまで、「つなぐ」ことをミッションに、さまざまなネットワークに参画してきた。また、その中で、一定以上の役割を果たす必要にも迫られている。一見すると、自らの団体の活動を大きくしていくことと、「つなぐ」ことは矛盾するようにも見えるが、これまでのネットワークを大切に、関係団体との協力の中で、（福祉の）まちづくりにつながることは積極的に参画していきたい。

- ①地域自立支援協議会への積極的な参画  
②ボランティア・ビューロー再編の中での「つなぐ」の紙面改訂をきっかけの一つにしたネットワーク活動の広がりを少しずつ取り組んでいる。

## 4. 事業の次のステージをめざしてー福祉事業拡大プロジェクト

寝屋川市民たすけあいの会が約10年前から制度内の事業に取り組みは

じめたのは、時代が変わったことと同時に、長くかかわらせていただいていた方からのニーズに基づいてだった。いま、またいろいろなニーズがでている中で次の事業拡大にむけて動きはじめるべき時期にきている。特に、暮らしの支援については、今年度、市から居住サポート立ち上げ支援事業の委託をうけることもあり、また、ぼちぼちはうすの利用者の方を中心として、あがっているニーズでもある。しかし、その実現のためには、さまざまなハードルがある。

このことを実現するために、新しくプロジェクトチームを編成し、実現にむけて取り組んできた。

①くらし支援プロジェクト・・・体験宿泊、一人暮らし支援システム、の仕組みづくりと実践の取組み。

以下は「たすけあいの会」が2011年度に行った事業の内容である。

# 事業内容

## 【1】事業活動

### 【1】地域活動／高齢者・障害者・子どもの生活を支援する事業

#### A ボランティア活動

(1) 在宅ボランティア派遣活動・・・活動なし。依頼はあるがボランティア・コーディネートを休んでいることと、ボランティアがいないので、お断りしている。支援センターのケースとして、在宅ボランティア活動と類似した活動を行っている。

#### (2) 交流活動・サロン活動・つどい活動

##### ① 外出交流会

1984年度より、在宅の寝たきり老人・障害者・難病患者等とその家族、およびボランティアの交流の場づくりを企画し、年に2度ほど外出している。2011年度は6月4日に鶴見緑地公園へ咲くやこの花館に外出。11名が参加。

##### ② たすけあいサロン（ミニデイサービス）

たすけあいの会では2000年度6月より、月に1度（第1土曜日）にめぐみデイサービスセンターをお借りして、ミニデイサービス（たすけあいサロン）を開催しはじめた。2001年度8月より場所を「ぼちぼちはうす」に変更し、続けている。毎回6～11名程度の比較的年齢の高い方、中途障害、難病の方が集まっておしゃべりに花をさかせている。

4月 2日（土）	10名	
7月 2日（土）	7名	
8月 6日（土）	7名	
9月10日（土）	7名	
10月1日（土）	8名	
11月5日（土）	8名	
12月3日（土）	9名	
1月 7日（土）	6名	
1月29日（土）	27名	新年会
3月 3日（土）	7名	

総計 のべ96名

③ 寝屋川さくらんぼの会ミニデイサービス

1998年に寝屋川市で開催した失語症ライブの同窓会を元に、言語障害、失語症を持つ人たちの会「寝屋川さくらんぼの会」が結成された。2001年11月からは、めぐみデイサービスセンターにて言語聴覚士の方の協力を得、月に1度(第3土曜日)にミニデイサービスを行っている。現在は、場所を保健福祉センターに変え、言語聴覚士の専門学校生(大阪医専)のボランティアの協力を得ながら活動を行っている。現在の登録メンバーは4名。ここ3年ほどはメンバーの入れ替わりが激しくなり、メンバーが減少している。

4月16日(土)	参加者3名	家族	名	ボランティア	3名
5月21日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	4名
6月18日(土)	参加者1名	家族	名	ボランティア	3名
7月16日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	3名
8月20日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	7名
9月17日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	6名
10月15日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	5名
11月19日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	2名
12月17日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	3名
1月19日(土)	参加者1名	家族	名	ボランティア	5名
2月18日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	7名
3月19日(土)	参加者2名	家族	名	ボランティア	5名
総計	のべ参加者23名	家族	0名	ボランティア	43名

④ 「おもちつき交流会」

ボランティア・サロンに参加されている方の協力の下、もちつき体験を実施。もちつきの方法・やり方、作り方を教えていただく交流会を開催。その後、子どもの遊びの活動「そるどみ」やぼちぼちはうす等のプログラムに活用する。

11月23日(水) 参加者28名

⑤ クリスマスリース作ろう会

フラワーアレンジメントの先生(外部講師)にお越しいただき、リース作りを体験する。完成後はお茶とお菓子をいただきながら談話。すだちにて開催。

12月17日(土) 参加者5名

⑥ maru◎kuru (まるくる)

古くからの会員さん、ボランティアさんというよりは、近年新しく出会った方(そらどみ、事務局ボラなど)に声をかけ、すだちを使って交流する。今年度、年間4回開催した。

7月31日(日)	餃子パーティ	参加者4名
9月10日(土)	夕涼み会	参加者6名
12月17日(土)	鍋会	参加者6名
2月12日(日)	巻き寿司作り&豆まき	参加者5名

(3) 福祉施設などへの訪問ボランティア活動

① 特別養護老人ホーム寝屋川十字の園

1978年より毎月1回(第3火曜日)、市内の特別養護老人ホームを訪問し、清掃、縫製、お年寄りの話し相手・代筆等の活動を行っている。参加ボランティア3~6名。活動内容は古着の裁断やガーゼ折りなど。

	日	時	活動内容	参加数
1	4/19	10時~12時	古着の裁断。	4名
2	5/17	10時~12時	ガーゼ(大・小)折。	3名
3	6/21	10時~12時	ガーゼ(大・中・小)折。メモ作り。	4名
4	7/19	10時~12時	ガーゼ(中・小)折。お尻拭き作成。	4名
5	9/20	10時~12時	ガーゼ(大・小)折。	4名
6	10/17	10時~12時	ガーゼ(大・中)折。古着の裁断。	5名
7	11/15	10時~12時	雑巾作成。メモ作り。古着の裁断。	5名
8	12/20	10時~12時	ガーゼ(大)折。メモ作り。古着の裁断。	6名
9	1/17	10時~12時	古着の裁断。	6名
10	2/21	10時~12時	ガーゼ(大・小)折。	4名
11	3/20	10時~12時	ガーゼ(大)折。ガーゼ箱の装飾	5名

② ケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」

1994年3月より市内のケアハウス「ロイヤルライフ・カミダ」への訪問を開始し、施設の清掃、デイサービスの補助、散歩、買い物の介助などを行っている。主に、木曜日は施設内の清掃、金曜日はデイサービスの補助を行っている。年々、活動は停滞していたが昨年度より、数年前に活動をしていただいていた方が活動を再開していただき、活動自体が再開した。

4月 1日(金) 時間: 10:00~12:00 ボランティア: 1名

4月 8日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
5月 8日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
5月13日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
5月20日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
5月27日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
6月24日 (金)	時間：10：00～12：00	ボランティア：1名
8月 2日 (火)	時間：11：00～15：00	ボランティア：1名
8月 3日 (水)	時間：11：00～15：00	ボランティア：1名
8月 4日 (木)	時間：11：00～15：00	ボランティア：1名
8月 5日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
8月12日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
10月 7日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
10月21日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
10月28日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
11月 4日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
11月11日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
11月18日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
11月25日 (金)	時間：10：00～13：00	ボランティア：1名
12月 6日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
12月13日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
12月20日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
12月22日 (日)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
12月27日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
1月10日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
1月17日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
1月24日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
1月10日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
2月 7日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
2月25日 (土)	時間：12：00～17：00	ボランティア：1名
3月 2日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
3月 9日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
3月16日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
3月23日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
3月30日 (金)	時間：10：00～16：00	ボランティア：1名
総計 のべ日数36日		ボランティア36名



③ デイサービスセンター輝きのまち (ケアハウス池田)

1996年度の10月より市内のケアハウス「輝きのまち ケアハウス池田」併設のデイサービスセンターへの訪問を開始し、週1回木曜日に特別浴の着脱のお手伝いを行っている。また、1997年度10月より月曜日にもデイサービスのお手伝いを行っている。今年度の活動はなし。

④ 神経系難病者交流会「ひまわり会」へのお手伝い

月に1回開かれる「ひまわり会」でボランティアとしてお手伝いさせていただいた。

(4) 子どもたちと遊ぶ活動

① そるどみ (SOL DE DOMINGO) の開催

障害のある子もいない子も、地域の小学生とボランティアと一緒に遊ぶ活動。2011年度の登録メンバーは5名。毎月第1日曜日に「すだち」を拠点に活動を行っている。(1月のみ、第2日曜日に変更して開催。) 特別プログラムとして、遠足も実施した。毎回、学生や社会人がボランティアとして参加している。

4月	3日(日)	メンバー3名	ボランティア7名
5月	1日(日)	メンバー3名	ボランティア11名
6月	5日(日)	メンバー2名	ボランティア10名
7月	3日(日)	メンバー4名	ボランティア6名
8月	7日(日)	メンバー4名	ボランティア6名
9月	4日(日)	メンバー4名	ボランティア6名
10月	2日(日)	メンバー2名	ボランティア4名
11月	6日(日)	メンバー3名	ボランティア6名
12月	4日(日)	メンバー4名	ボランティア11名
1月	8日(日)	メンバー5名	ボランティア10名
2月	5日(日)	メンバー4名	ボランティア7名
3月	4日(日)	メンバー3名	ボランティア10名

総計 ボランティア のべ94名

★研修：そるどみのボランティア対象の「リーダートレーニング」名称改め「そるどみボランティアシェアリング」を開催。

6月19日（日） 参加者6名



【そるどみ】

② あそび市の開催

市内在住の小学生と保護者を対象に、市立保健福祉エンター多目的ホールにて単発の遊びのプログラムを行った。そるどみの活動紹介展示も同時に昨年度は開催したが、今年度は開催せず。

③ こもます (?Como mas?) の開催

そるどみを卒業した中学生対象のプログラムとして一昨年度開催したが、2011年度は実施せず。

④ びっくりおもちゃ箱の開催

ボランティアと地域の子どもの遊びのプログラム。一昨年度は夏休み期間に一度開催したが、2011年度は実施せず。

(5) 社会的ひきこもり社会参加支援

- ① 06・07年度、府が行っていた社会的ひきこもり社会参加支援グループ事業を実施していた。このモデル事業は府内2カ所で行われ、そのうちの1カ所を委託をうけ実施した。一年半で社会的ひきこもりネットワーク会議からの推薦で7名の方の支援を行った。モデル事業は、2007年度で終了。その後も活動を続けている。

- ・サロン活動 毎月5～6回程度。テーマは、事務局ボラ活動など
- ② 昨年度より、寝屋川保健所主催で社会的ひきこもり者実務者会議が開催されており、それに参加している。

## B 障害者自立支援法に基づく事業

### (1) 社会参加活動センター「ぼちぼちはうす」

障害のある方の豊かな日中活動を行っていただく場として、「ぼちぼちはうす」を2000年10月より開設した。2003年度からは、寝屋川市の基準該当の身体障害者デイサービスとして知的障害の方の相互利用を含めて、運用することになった。

その後、2006年度、障害者自立支援法により存続の危機に直面。2006年3月19日の毎日放送「映像06」でぼちぼちはうすが取材・放送された。放送後、117人の方から288万2100円の寄付をいただき、ぼちぼちはうすの横を新たに借りあげ改装し、「ぼちぼちはうす新館」を開設。障害者自立支援法制度施行後は、2006年度上半期は「障害者デイサービス」として、下半期は「経過的デイサービス」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営をした。

2007年度より、市の委託事業として旧障害者デイサービスの移行種別である「地域活動支援センターⅡ型（定員15名）」と「重度障害者等包括支援事業の一部」として運営している。

利用時間は9：50～16：10である。重度障害者等包括支援事業の対象の方が5名。地域活動支援センターⅡ型の登録の方が24名（うち、「ゆる・りろ」10名、「風ride（プライド）」2名、パラデロ2名、その他3名含）となっている。もともと利用されていた重症心身障害の方、全身性障害の方、知的障害の方に加えて、高次脳機能障害や精神障害の方が増えている。年度途中でお一人利用中止があった。

見学・来訪者は140名、ボランティアはのべ56名であった。

#### ぼちぼちはうす利用者の障害程度区分について（ゆとりろ除く）

計	6 (重度包括)	6	5	4	3	2	1	未判定
17人	5人	6人	2人	1人	1人			2人
	29.4%	35.2%	11.8%	5.8%	5.8%			11.8%

区分6 = 64.7%



【ほちほちはうす】

② 「ゆと・りろ」(精神障害者ユニット)

精神に障害をもたれた方の日中活動の場として、食事作りや、仲間と集う活動を中心としたプログラム。食事作りでは、メンバー間で献立を考え、買い出しをし、調理等も役割分担している。仲間やボランティアも交えた空間で共に過ごし、一人一人が役割と、自分らしいスタイルが持てる場を目的としている。11年度の登録者数10名。

2011年度は、のべ利用者は967人。メンバーのべ909人ボランティア・学者のべ58人だった。また、新規プログラムとして、火曜「徒徒の会」(毎週 13:30～16:00)、木曜「ヨガロマ」(14:14～16:15)、金曜「ランチ王」(10:00～14:00) 「あまみ党の会」(14:00～16:00)、土曜「ランチ王」(10:00～14:00)、「カフェ」(14:00～16:00) \*2回/月、を開催した。

さらに2011年度は、寝屋川市公益活動支援公募補助金交付事業が決定し、以下の内容のイベント、プログラムを開催した。

① 文化系イベント

- ・「珈琲講座」 9/23 (金) 講師：福田智彦さん 参加者 3名
- ・「チーズケーキ講座」 1/22 (日) 講師：香村篤子さん 参加者 5名
- ・「英語落語講座」 3/17 (土) 講師：岩本笑人さん 参加者 6名

② 健康講座

- ・「口腔衛生について」 8/9 (火) 講師：寝屋川市健康増進課  
参加者 7名
- ・「メタボって何？」 2/28 (火) 講師：寝屋川市健康増進課  
参加者 3名

③ 「ヨガロマ」の定期開催

…アロマグッズやヨガの資料を購入し、定期開催が可能に。

④ 「徒徒の会」の定期開催

…体重計、血圧計を購入し、バイタルチェックを取り入れたプログラムが可能に。

開催曜日	月曜日	火曜日	木曜日	金曜日	土曜日 (月2回)	日曜日 (月1最終週)	
プログラム名	ランチ王	ランチ皇子	ランチ王	ランチ王	ランチ王	ある日曜日の 昼下がり	
内 容	AM: 献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。	AM: 簡単調理で美味しく、楽しく食べるプログラム。	AM: 献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。	AM: 献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。	AM: 献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。	AM: 献立から買い出し、調理。作ったご飯を食べるプログラム。キャッチコピーは、「一人ひとりがオーナー兼シェフ」。	12:00～カフェロビーがopen 珈琲の販売やゆっくりと過ごす時間。 13:30～映画鑑賞会。 お茶を飲みながら、映像を楽しみ、観終わった後は、参加者同士で感想を語り合うプログラム。
	情報 PPP	徒徒の会	ヨガロマ	あまみ党の会	カフェ		
	PM: パソコンについてみんな勉強する場。ブログを使って情報発信をしている	PM: ウォーキングを中心とした、体にあまり負担かけずを動かすプログラム。	PM: 女性限定のプログラム。アロマ体験や、ヨガ等のストレッチを行います。	PM: お話をしたり、パソコンや本を見たりと自由にごすことができます。	PM: ゆと・りろ登録メンバー限定の喫茶タイムです。ドリップ珈琲もあります。		

③ 風ride (プライド)

自立生活支援センターづくりをめざして活動をしている。メンバーは2名。2011年度は、第3日曜日に「語ろう会」を主な活動とした。また、新

しいメンバーあつめをかね、月に1度DVD上映会を開催している。

④ パラデロ

高次脳機能障害の方を主に対象としたプログラム。リハビリ的な要素を取り入れ、紙すきや古切手を使った画づくり、園芸などの作業、あとは個別プログラムとして、音楽プログラムやパソコンなどをおこなっている。

(2) ヘルパーステーション「ほっと」

① 障害者居宅介護事業

2002年度より、精神障害者の居宅介護等事業をはじめた。2003年度より、身体障害、知的障害児者の制度が支援費制度になり、身体障害、知的障害児者のホームヘルプ（身体介護・家事援助）の事業も開始した。

2006年度は、障害者自立支援法による改正があり、現在は、居宅介護（身体、知的、精神、障害児）、重度訪問介護（全身性障害）、行動援護（知的、精神）、重度障害者等包括支援事業と、市の委託により移動支援事業を行っている。

障害者自立支援法の改正に伴い、10月より同行援護が新設されたが、当会では同行援護は実施していない。

2011年度在宅サービス実績（上段／下段は2010年度）

	利用者数	回数	時間
居宅介護	6人 (5人)	757回 (470回)	1694時間 (1538時間)
重度訪問介護	7人 (7人)	434回 (436回)	3886時間 (3822時間)
行動援護	5人 (5人)	415回 (349回)	1966時間 (1622時間)
移動支援	22人 (23人)	273回 (349回)	1700時間 (1898時間)
重度障害者等包括支援事業	6人 (6人)		13223時間 (11686時間)

※ 法人事業の「ヘルパーステーションほっと」と「ぼちぼちはうす」の苦情解決第三者委については、追手門学院大学准教授の古川隆司さんをお願いしている。

### **C 介護保険法に基づく事業**

実績なし。休止中。

### **D 移送サービス事業**

10年前、市内の住民参加型在宅福祉サービスを手がけていた団体が解散することになり、その団体が日本財団から、もらいうけていたリフト付きの軽ワゴン車を譲渡されることになった。以前より、病院などへの車での移送、送迎は在宅ケースとして対応していたが、車の譲渡を機に、リフト付き軽ワゴンの貸出およびこの車を利用した移送ボランティアによる移送を行っていた。

現在は、国のNPO等による移送サービスの制度化が進んだことにもない、2005年度、半ばに運営協議会の結成後、NPO法人有償移送（いわゆる道路交通法80条適用移送）の申請を行った。しかしながら、積極的に事業を行う姿勢はとっていない。

情報などの収集のために関西 STS に参加している。

### **E 暮らし支援事業**

2010年度、市からの居住サポート立ち上げ支援事業と社会福祉振興助成事業、そして、重度障害者等包括支援事業を活用し、「障害のある方の暮らしを支える」取組みをはじめた。

今年度は、取組みを整理し、すだちを仮の「(仮称) サポートセンター」として位置づけ、地域の中で暮らしていかれる生活のサポートを行う取組みを考え、実践をはじめている。

## 【2】コーディネート事業・相談活動・ボランティア支援・当事者支援活動

### A 障害者自立支援法に基づく相談活動

#### (1) 寝屋川市障害者相談支援事業の受託運営

2002年度より、寝屋川市より市町村障害者生活支援事業の委託を受け、寝屋川市民たすけあいの会地域生活支援センターを運営している。制度の改正に伴い、大阪府の指定相談支援事業所となり、また、寝屋川市の委託相談支援事業所になった。

総合相談件数／連絡調整件数 1307件

難病者ピアカウンセリング・・・毎日＋出張相談日 第3水曜日

視覚障害者ピアカウンセリング・・・毎月第4土曜日

市から依頼され、

聴覚障害者ピアカウンセリング・・・聴覚言語部会の取り組みに補助している。

#### (2) 相談支援機能強化事業の受託運営

相談支援機能強化事業の委託を受け、主に、ネットワーク推進員として、寝屋川市障害者地域自立支援協議会の運営に参画している。

精神障害者自立支援会議、寝屋川市就業・生活支援センター運営委員会・実務者連絡会などの会議にも参加している。

#### (3) 障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

障害者自立支援法の介護給付のサービスを受けるにあたり、認定審査を受ける必要がある。二次審査として審査会が設置され、その審査員としてスタッフを派遣している。

#### (4) サービス利用計画策定事業

指定相談支援事業所として、10名の方のサービス利用計画の策定を行っている。一人暮らしの方、高齢の要介護の親御さんと同居の方、退院支援を行った方である。

#### (5) 居住サポート事業の受託運営

障害があるため一般の住宅への入居やそれに伴う手続き、住宅探しなどに支援が必要な方への支援を行う事業の受託運営を行った。



## B 地域ネットワーク活動

### (1) 関係機関会議への出席

#### ① 精神障がい者自立支援促進会議

精神病院への入院が長期化している精神障害者に対し、保健・医療・福祉の関係機関が連携して支援計画を樹立し、退院・地域での自立を支援する方策や地域システムを検討する会議。以前行われていた精神保健福祉合同委員会を吸収するような形で行われている。

#### ② 高齢介護室のよびかけで行われている認知症の方を地域で支えるネットワーク会議に参加。

### (2) ボランティア関係の会議への出席および参画

#### ① ボランティア連絡協議会

寝屋川ボランティアセンターの登録グループの連絡協議会へ参加。ボランティアセンター、他のグループとの相互理解・情報交換を進めた。

#### ② 大阪ボランティア協会パートナーシップ団体への登録

### (3) 精神障害者支援機関のネットワークへの参画

大阪府が推進している、精神障害者地域交流事業を行っている「Club E & T」(旧ひなたぼっこの会)の運営への協力と各交流事業へ参加した。事務局も昨年に引き続き担当。月に1回定例で運営委員会も行われている。

・Club E&T 運営委員会 開催数：11回 参加数：60名 \*内当事者0人

・ふれあいの会(当事者が中心にイベントを企画する会議)

(ア) 会議 開催数：12回 参加数：77名 \*内当事者65人

(イ) イベント(当事者中心に企画されたイベント)

開催数：4回 参加数：26名 \*内当事者22人

(ウ) チラシ編集会(広報活動。イベント案内やチラシの作成をする会)

開催数：12回 参加数：36名 \*内当事者24人

・こころの健康映画会(タイトル「人生、ここにあり！」)

日 時：3月24日 場所：寝屋川市立総合センター2階 講堂

参加数：131名 \*内当事者70人

・第7回就労のつどい(現在就労している、また就労を希望する方が集い交流をする場)

日 時：10月22日 場所：にぎわい創造館3階 第1研修室

参加数：43名 \*内当事者29名

・春の遠足（兵庫県）

日 時：3月4日 場所：神戸「北野★工房」

参加数：22名 \*内当事者18名

総計回 のべ395名 (\*うち当事者数228名)

## C ボランティア活動支援事業

ボランティア・サロンの開催

ケース検討会が休止したこともあり、またボランティア同士の交流の機会が減っていることから、ボランティアの活動報告と交流を目的に新しく開始した。

4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、2月、3月の第4水曜日の午後に開催した。

2月は、つなぐ200号の発送作業があり3回開催。

## D 当事者団体支援活動

### ▶寝屋川難病連絡会

96年度の5月12日に、市内の難病団体および難病者のための寝屋川難病連絡会の発足総会が行われた。また月1回の運営委員会が行われている。当会はその事務局として、連絡調整、広報、会場・備品の提供などを行っている。

寝屋川難病連絡会第16回総会が10月30日(日)に行われた 15名参加

### ★寝屋川市障害者長期計画策定協議会への当事者委員としての参加

障害者基本法に位置付けられた寝屋川市障害者長期計画の策定協議会に推薦、参画した。

### ★障害者自立支援法にかかる障害程度区分審査会への審査員としての派遣

### ▶障がい者の自立を考える会「やじろべー」

車いす利用者の4名を中心に自分たちの自立生活を考える会として発足。障害者自立に関することを考えながら、特に余暇的な活動を中心にされている。

### 【3】教育・啓発活動

#### A インプロ・パーク

インプロとは英語のインプロヴィゼーション＝「即興」の略。元々は俳優のトレーニングとして開発された即興劇のプログラムで、わが国でも90年代以降、学校教育、企業研修などいろいろな分野でコミュニケーションワークショップとして応用されている。

東京からファシリテーターの方をお呼びし、2011年度は3回開催した。

5月16日(日)	参加者8名
10月23日(日)	参加者7名
1月22日(日)	参加者9名

#### B ワークショップ等の開催

2011年度は実施なし。

### 【4】コミュニティ・メディアにかかる活動

#### A カフェ放送「てれれ」の上映会の開催

大阪市にある映像発信「てれれ」という団体が展開している取り組み。様々な視点で作られた、いろんなテーマの10分以内の映像作品を1時間のプログラムにして、カフェなどで隔月定期上映されている。その「てれれ」のプログラムを、スタッフやボランティアさんとともに見る会を開催してきたが、今年度より一般にも呼びかけて行っている。

総計7回(うち1日昼夜上映含む) のべ参加者35名

### 【5】国際的な草の根の交流を行う事業

なし。

### 【6】リサイクルバザー事業

#### A ぼちぼちバザール

毎年、7月に市内の団体に声をかけて、共同で行っているバザー。

日にち：7月17日(日) (主催：3団体の参加)

場 所：総合センター1階

売 上：46,230円 当日のボランティア6名

## 【2】組織と運営

### 【1】会 員

- (1) 会員数＝会費納入者  
2012年3月末現在

	個人会員	団体会員	注) 数字のカウンットの仕方
10年度までの会員	170名	12名	→2010年度会費納入者数
11年度 加入者	35名	5名	→新規および復活者数
11年度 退会者	32名	5名	→退会および2011年未入者数
会 員 数	173名	12名	
総 会 員 数	185名		→2011年会費納入者数

- (2) 会員へのサービス

- 1) 会誌「つなぐ」の送付 6回
- 2) ボランティア保険への加入 (一部会員のみ、会費より)

### 【2】組織活動 (敬称略)

- (1) 定期総会

日 時 2011年5月8日(日) 10:30～12:00

場 所 ぼちぼちはうす

- 議 題
- 1) 2010年度事業報告
  - 2) 2011年度事業計画・予算計画の審議・承認
  - 3) 2011年度役員選出

出席者 55名 (委任状提出者38名、非会員1名を含む)

- (2) 運営委員会

毎月第1月曜日 14:00～16:00

運営委員：田中哲次郎、別所訓子、西尾美津子、森川加代、村井謙太、  
守本友美

主な議事 事業の企画と調整

### (3) 理事会

たすけあいの会の運営委員会時に開催。

1. 日時：2011年4月4日（月）15:00～15:30 理事の参加  
議題：①今年度の計画について  
②新規採用職員について
2. 日時：2012年3月5日（月）13:30～14:00 4理事の参加  
議題：①日中活動の新体系移行について  
②暮らし支援について  
③相談支援について  
④今年の4月に法改正され、来年春には障害者総合福祉生活支援法が施行。

### (4) 理事総会（社員総会）

5/17 外部理事、監事の4名とスタッフにて、法人の社員総会の位置づけで開催。

外部理事：石井祐理子（光華女子大学）

室田 信一（学術研究員）

川口 裕之（NPO法キッズポケット、てづくりほいく研究会）

外部監事：玉木 幸則（メインストリーム協会）

### (5) 常任委員会

今年度の方針として初めて設置をし2回実施。

1. 日時：2011年9月27日（火）18:30～21:30 4理事の参加  
議題：①常任委員会の位置づけの確認  
②各部・各事業からの提案・確認等
2. 日時：2011年12月13日（火）18:30～21:30 4理事の参加  
議題：①前回の会議で提案された事項について  
②次年度の障害者自立支援法改正法に伴う福祉事業部の事業再編の見通しについて  
③認定NPOの取得について
3. 日時：2012年2月21日（火）19:00～21:00 4理事の参加  
議題：①グループワーク（たすけあいの会の方向性の確認）  
②次年度に向けての確認

## (6) 福祉事業部ミーティング

1. 日 時：2011年10月17日（火）18:00～20:00 2 理事の参加  
議 題：①福祉事業部ミーティング役割の確認  
②平成23年度の3本柱の確認  
③金銭・備品・車両管理の確認
2. 日 時：2011年12月5日（火）18:00～22:00 2 理事の参加  
議 題：①各館の管理について（掃除状況も含む）  
②金銭・備品・車両管理の確認  
③情報伝達シートの有効な活用について
3. 日 時：2012年3月12日（火）18:30～21:00 2 理事の参加  
議 題：①情報伝達シートの有効な活用について  
②金銭・備品・車両管理の確認  
③次年度に向けての報告・確認

## (7) 職 員

2011年度の常勤職員。

村井謙太、富田昌吾、中務飛鳥、福井美奈子、西岡寛信、吉田智里、  
藤本祥平、大村静香、山田久美子、大島亜弓、山野仁美、野畑大幸、  
原岡由維、中村真人、三国洋子、重村大介（8月より）

## (8) 福祉事業を考える会（仮称）

開催されず

## 【3】広報活動・寄付を求める活動

- (1) 会誌「つなぐ」の発行 6回  
\* B5版、手書き、12ページ～16ページ 650部（隔月刊）  
★身体障害者刊行物協会の出版として第3種郵便物として発行
- (2) ホームページの公開  
<http://www.neyagawatasukeai.org/>
- (3) イオンの行っているイエローレシートキャンペーンに参加した。
- (4) リサイクル・インクカートリッジ事業に取り組んでいる。